

合格体験記

氏 名:

担任講師: 船戸、伊東、柴森 先生

在籍校舎: 巣鴨 校

進学先

都立青山高校

その他
合格校

私立淑徳高校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私が稲門学舎に入塾したのは中学1年生の夏でした。その頃の私は数学が不得意で定期考査でもなかなか良い点数が取れず、勉強に対する意欲は低い状態でした。

私が本気で勉強に取り組むようになったのは中学3年生になってからです。その頃から第一志望は青山高校でしたが、内申は足りておらず、Vもぎでも志望校判定は合格ラインに届いていませんでした。そこでまず私は夏休みに毎日長時間塾で勉強をしました。1、2年の復習をして、基礎をしっかりと固めることに重点を置きました。正月合宿では、過去問や難しい問題集を解いて応用問題にも対応できるようにしました。毎日塾に通って自習をしたことも合格へとつながったと思います。

そして、私は青山高校の推薦入試を受験することに決めました。募集人員がとて少なく、合格することはとても厳しいものでした。しかし先生方は、ずっと応援し続けてくださいました。結果は不合格でしたが、それが一般入試への向けてのやる気につながりました。今では推薦入試を受験して良かったと感じています。

私が受験勉強をする上で大切にしていたことは二つあります。一つは理科と社会をしっかりと勉強することです。青山高校は自作作成校なので、理科と社会で高得点を取らなければなりません。そこで私はスタサタに毎週参加しました。わからないことは必ず先生に聞くようにして、しっかりと理解することができました。

もう一つは問題を解くことができなかったとき、解

答の解説をよく読んでもう一度解き直して
ることです。問題が難しいから放
つておくのではなく、解き方を理
解することにします。私はその
おかげで苦手だった数学が、だ
んだん得意になると同時に好き
になりました。私が合格すること
ができたのは自分の力だけで
はありません。入塾当初から見
守ってくれてくれた千石先生や
昨年の4月からずっと「絶対合
格です！」と言いつづけてくれた
原先生、様々なことを教えてく
れた先生方も合格を目指して一
緒に勉強した友達などたくさん
の人の支えのおかげです。辛い
とき大変なときもあったけれど、
稲門に行くことに楽しく勉強が
できました。稲門学舎の先生方
には感謝しています。本当にあ
りがとうございました。